

## 二十歳の誓い

高校2年生の夏、ボーイスカウトのキャンプで生まれて初めてイタリア・フィレンツェに行きました。海外に行くのも初めてだしイタリア語どころか英語も全く話せないのに、イタリア人10人と日本人の僕1人で一つのテントに2週間泊まることになったのです。

最初は不安を乗り越えて恐怖で、なんで応募したんやろうと後悔していました。実際にキャンプが始まっても、言葉が通じないことから誤解して喧嘩になったり、山登りをしてこっちは疲れてしんどいのに、ずっと陽気に騒いでいるイタリア人に腹が立ったりもしました。ところが一緒にパスタを作ったり、お好み焼きを食べたり、書道を教えたり、相手の国の文化を一緒に学ぶうちに、お互いの距離がどんどん近くなってくるのを感じました。そして、言葉が共通でなくても一生懸命分かってもらおうと身ぶり手ぶりと心をこめて訴えようと不思議と通じるのです。

帰ってから半年ほど経ち、一緒にキャンプをした仲間が、大学で日本語の授業をとってくれたことや、僕たちとの出会いがきっかけで日本に興味を持ち、旅行に来てくれたことを知ったとき、「人を通してその国を好きになる」国際交流の意味を実感し、すごく嬉しく思いました。

翌年、今度は世界約160ヵ国から3万5千人が集まる国際キャンプ大会に参加しました。キャンプでは様々な国から来た人たちが、お互いの文化を教えあい、仲良く交流をしていました。「でも、なんで世界平和になると難しいんやろう。」そう思った僕は、キャンプの中で「あなたにとって平和に大切なものってなんですか？」と様々な国の人に質問をして回りました。ほとんどの人が同じ答えでした。その答えとは「お互いが寛容になること！」違う宗教・違う文化であっても同じことを考えていたのです。

今、大学の部活で、英語で観光客を案内する活動をしています。一生懸命、丁寧にガイドができたときは、心が通じて京都を好きになってくれるのを感じることがあります。僕たちの行いを通して、日本人の印象が世界に発信されていくと思うと、これからの国際社会に生きる僕たちは、寛容と共に人間性も高めていかないといけないと感じています。

今までの経験を生かして、これからも多くの国の人と関わり、日本という国を好きになってくれる人を増やしていきたいです。そして将来は、外国との貿易の仕事か観光業に携わりたいと思っています。この夢の実現に向けて頑張ることを「二十歳の誓い」とさせていただきます。

平成30年1月8日 新成人代表 前川 陽司